

創業・新事業展開の事例紹介 ～創業支援ルーム入居者のご紹介(その70)～

ウエスタ川越創業支援ルームは、様々な業種・業態の方々にご入居いただいております。創業準備中の方、個人事業から法人を設立される方、創業5年以内のスタートアップ段階の方、新分野への事業展開を目指されている方が入居されています。そこで、このコーナーでは入居者の紹介をさせていただいております。これから創業を希望される方は、創業の事例として参考にいただければ幸いです。また、この記事をお読みになり、ビジネスパートナーとしての関係を構築されたい方は、創業支援ルーム事務局かご本人宛に直接ご連絡ください。

520号室

HAL Create 代表 高橋 広気 様



高橋代表

【事業内容】

個人事業主として令和5年2月に開業後、3つの分野でサービスを提供しています。

1. ITコンサルティング
 2. システム開発・技術支援（SE・プログラマーとしての経験を活かした分野）
 3. 中小企業診断士としての経営支援
- それぞれの詳細は以下の通りです。

1.ITコンサルティング

- ① ITツール選定・導入計画策定
- ② 業務フロー整理／可視化支援（AsIs・ToBe整理）
- ③ KPI設定、PDCA支援、導入後の定着支援

2.システム開発・技術支援

- ① Webアプリ・業務ツールの開発
- ② システム連携、API開発、RPA導入支援
- ③ システム保守

3.中小企業診断士としての経営支援

- ①経営相談（補助金、資金繰り、戦略立案など）
- ②各種支援機関での専門家対応
- ③研修・セミナー講師（テーマ例：DX、業務改善、IT導入）

わたしが提供するサービスの特長と強みは次のように考えています。

- 1.業務改善やDX推進を目指す中小企業に対し、「ITコンサルティング」から「アプリケーション開発」まで一気通貫の支援が可能です。
2. 業務課題の洗い出し、業務フローの最適化、KPI設計、ツール選定、導入後の定着支援までを包括的にサポートします。
- 3.kintoneやGoogle Apps Scriptのような少ない予算で導入できるツールから本格的なスクラッチ開発まで幅広く対応します。
- 4.ChatGPTなどのAIをはじめ、生産性や効率化に大きな効果がある技術を積極的に取り入れた投資対効果の高いDXを実現します。
- 5.コンサルティングに必要な論理性とエンジニアとしての実装力を兼ね備え、個別最適に陥らない全体最適のDX支援を提供します。
- 6.中小企業診断士として、経営、会計、販売・マーケティング、補助金や助成金の活用等、幅広い知識を活かした支援が可能です。

以上の特長を活かし、お客様の様々なニーズにお応えしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

▼【自己紹介&創業のきっかけ】

大学では工学部情報工学科に在籍し、情報技術の基礎を学びました。卒業後はSierに勤務し、プログラマーとしてシステム設計・開発に携わり、開発チームのリーダーも経験しました。その後、大手企業のコンサルティング部門に所属し、業務改善コンサルタントとして多くの企業を支援しました。この間はSE職も兼任し、ITコンサルティングからアプリケーション開発まで一気通貫で対応できるスキルを培いました。在籍中も自己研鑽を重ね、IT関連資格や中小企業診断士試験に合格しました。自身のスキルアップが提供するサービスの質を高め、ひいてはお客様の成果につながると考え、努力を続けてきました。

こうした経験を通じて、ITと経営の両面から支援できることが自身の強みだと確信しました。市場やトレンドを踏まえ、本当にお客様のためになると思える製品やサービスを提供したいとの想いで独立を決意しました。

【創業支援ルーム入居のきっかけ】

開業後、1年間は副業で活動していましたが、2年目には完全に本業とするために事務所を探していました。

住まいは川越ですので地元でウエスタ川越創業支援ルームがあることは存じておりました。創業支援ルームに問い合わせたところ、その時点では空きがありませんでしたが、しばらくすると募集開始の連絡がありましたので応募させていただき、無事入居することができました。

【入居後に感じるメリット等】

事務所を持ったことで自身の事業への意識がより高まったと思います。また、県の施設でもあり周囲からの信頼度も高まったと感じています。

【今後の事業について】

HAL Createのビジョンである「日々進化するIT技術を取り入れ常に新しい価値を創造するために挑戦し続けるお客様に伴走し期待する成果を提供し続ける」ということにこだわりたいと思います。

事業所名	HAL Create (ハル クリエイト)
住所	川越市新宿町1-17-17 ウエスタ川越 520号室
電話番号	080-2013-5416
URL	https://hal-create.com
E-mail	hiroki.takahashi@hal-create.com

裏面 は創業支援ルームに関するイベント情報です。

活動報告 507号室 AVIONIQS株式会社 代表取締役 稲辺 謙一様

“オートアフターマーケット東北2025”に出展しました!!

同社は令和6年11月設立、507号室 AVIONIQS(株)の稲辺社長が「オートアフターマーケット東北2025」に「DTLS (ディテイルス)」というオンラインショップ名で出展しました。同社の事業内容はカーディテリング用品の企画・開発・販売。主な販売先は国内外カーディテリング事業者、自動車販売・整備事業者、一般コンシューマーなどになります。

同社は“世界中の車を1台でも多く、1秒でも長くキレイに保つことで人々をちょっとだけ笑顔にする会社”というミッションステートメントを掲げて日々活動中です。

ブースで説明中の稲辺社長

今回の展示会の日程は9月20日(土)～21日(日)、場所は夢メッセみやぎ(宮城県)で開催されました。

来場者数は両日合わせて1,622名、昨年の1,528名を上回りました。

稲辺社長に今回の出展の目的とブースでの活動、感想についてお聞きしました。

「今回の出展は『新規のお客様の開拓』、設立間もない弊社の『認知度の更なる向上』を目的としたものです。出展ブースでは、お客様に**既存製品や新規製品のご紹介**、そして**弊社の付加価値**を知っていただくための**サービスの詳細な説明**を行いました。

また、弊社からの情報発信だけでなく、他の出展者の皆さまからの情報にも触れることができ、今後の弊社の営業活動に役立つものとして有意義な機会でした。」

展示会の意義や目的は様々あると思います。お話にもあるように展示会の目的は、情報発信に関心を持たれる傾向がありますが、情報を収集する場でもあるということを改めてお聞かせいただきました。

今回は、「オートアフターマーケット東北」を宮城県で出展しましたが、この後も「オートアフターマーケット九州」で出展とのことです。

今後も展示会等を通じて事業拡大に取り組まれることに注目です。

オンラインショップ名: **DTLS (ディテイルス)**

Tel : 049-273-6850

URL : <https://www.dtls.jp>

E-mail : dtlsinfo@dtls.jp

QRコード



ご興味のある方は右記までお問い合わせください。

また、QRコードから**DTLS (ディテイルス) のHP**をご覧ください。

活動報告 506号室 株式会社 PRiSM Lab 代表取締役 大屋 武尊様

ベトナムのパートナー企業に行ってきました!!

506号室PRiSM Labの社名の「PRiSM (プリズム)」は、さまざまな色と要素を反射する多面的なレンズを象徴しており、異なる視点とアイデアを一つにまとめるプロセスを表現しています。“**PRiSM Lab (プリズムラボ)**”は、**多様性を活かし、新しい可能性**を探索する場所として名付けられました。現在**アプリの自社開発**に注力されています。

さて、今号の活動報告はベトナム出張となります。同社のHPをご覧くださいと「プリズムラボが選ばれる3つの理由」の2つ目に「**海外の優秀な人材とタッグを組んで開発-オフショア開発で低コスト&高品質な結果をご提供!**」

というキャッチフレーズがあります。まさに今回、オフショアでタッグを組むベトナムのパートナー企業を訪問されたとのこと。以下早速、大屋社長からベトナム出張報告をお伺いしました。

「**オフショア開発**は主にベトナムのエンジニアと一緒に開発しており、2022年の会社立上げ半年後くらいから一緒にやっているのが約3年の付き合いになります。パートナー企業の社長は1年に1度は来日していただきましたが、実はこの3年間エンジニアとのリアル対面はありませんでした。一念発起して直接エンジニア達に会いに行きたい旨を連絡したところ、先方の社員旅行に同行させていただけることになりました。

エンジニアの皆さんとはリアルで初対面でしたが、今まで画面越しで顔は合わせていたので特に新鮮味は感じられませんでした(笑)

その後、社長とエンジニア達と談笑しました。その時撮った記念写真はご覧の通りです。

ベトナムに行くと驚いたことは、想像よりも経済が発展していたことです。GDPは前年と比べて7%上がっており、若い方も多く、とても活気に溢れています。人口も増加しているため若者達は就職するために必死にスキルを磨き、**技術力も非常に高い**です。

また、本当にみなさん親切なので仕事も日本人との相性は良いと思います。

今後とも**海外人材を活用**することでAIなどの**難易度の高いシステム開発**をリーズナブルに提供してお客様の**課題解決に貢献**いたします。」

お話をお聞きし、今後ますます期待したいと思います。

【お問い合わせ先】

株式会社 PRiSM Lab

埼玉県川越市新宿町1-17-17

ウェスタ川越 506号

HP : QRコード(右図)

E-mail : takeru_oya@prismlab.jp



紙面に関するお問い合わせ

埼玉県西部地域振興ふれあい拠点施設 ウェスタ川越 創業支援ルーム

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17

電話 : 049-249-1185 / Fax : 049-249-1180

メール sougyou@westa-kawagoe.jp